

興讓

よっかいちしりつおおやちこうじょうしょうがっこう
四日市市立大矢知興讓小学校

こうちょう
校長だより

れいわ ねん がつ にち
令和3年4月23日

No. 2

でんとう おおやちこうじょうしょうがっこう れきし みな あらた かくにん おち きくねんど
伝統ある大矢知興讓小学校の歴史について皆さんと改めて確認したいと思います。昨年度
の「興讓」に掲載した説明に手を加えて掲載します。

◇日本各地に「興讓」を名乗る学校あり

やまがたけん めいもんこう けんりつよねざわこうじょうかんこうこう ゆうめい ちかく よねざわしりつこうじょう
山形県の名門校である県立米沢興讓館高校が有名ですが、その近くには米沢市立興讓
しょうがっこう おかやまけん しりつこうじょうかんこうこう ねんいじょう れきし やまなしけん
小学校があります。岡山県の私立興讓館高校は160年以上の歴史がありますし、山梨県に
あたら けんりつこう づる こうじょうかんこうこう こうじょう いみ
新しくできた県立高は都留興讓館高校と名づけられました。ではその「興讓」の意味とは…。

○「興讓」の由来と歴史



こうじょう こしよ だいがく いっせつ いっかじん いっこくじん いっか
「興讓」は、古書「大学」の一節、「一家仁 一国仁 一家
じょう いっこくこうじょう もと きょういく みち きと
讓 一国興讓・・・」に基づく教育の道を論じたもの
がしゅってん
出典です。

この意味を現代風に考えてみますと「一人一人が思い
やり心を持って、みんながその心になり、一人一人が
謙虚な気持ちを持って、みんながその心となり、一人
一人が自分の利益だけを考えると間違ったことをすれば、
みんながその心となって社会は乱れ、人々は争い始める
」ことを教えています。

つまり「興讓」とは、常に自己を顧みて、自己の生活や言動を慎めば、私たちの社会は幸
せに満ちた輝かしい未来を創造することができるという意味です。

四日市市内の小中学校は、大矢知興讓小学校以外は、それぞれの地区の名前や方角を学校
の名前にしています。しかし「大矢知小学校」とせずに、地域に親しまれてきた興讓の言葉
を残し、「大矢知村立興讓小学校」を経て「大矢知興讓小学校」と名乗ることになったとの
ことです。

○校章の由来と意味



図案の創案者は、本校の第11代校長の吉村正雄氏です。
桜の文様は「平和」を愛好することを表し、中の星型は大矢知の
「大」を象徴し、天空高く輝く星のように子どもたちが高い理想に
向かって生きてほしいとの願いが込められています。
校名や校章に込められた意味や歴史の重みを感じながら、大矢知
興讓小学校で学ぶことを大切にしていきたいと思ひます。

日々の子どもたちの様子を大矢知興讓小学校ホームページに載せて紹介していますの
で、ぜひご覧ください。スマートフォン等からもご覧いただけます。

◇検索⇒大矢知興讓小学校 <http://www.yokkaichi.ed.jp/~ohyachi/cms2/htdocs/>

